

平成26年度

小高区小学校

(小高・福浦・金房・鳩原小)

学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館

学校図書館支援員 西 美登里

1 学校図書館の概要

(1) 学校図書館紹介

小高区小学校4校合同学校図書館は、小高・福浦・金房・鳩原の4小学校が利用する。4校は原発事故による避難のため本校舎を離れ、南相馬市立鹿島中学校敷地内仮設校舎1階に小高小学校が単独で、2階に福浦・金房・鳩原小学校の3校が合同で学んでいる。

支援員の派遣は平成24年度から始まり、今年度は3年目である。

平成26年度児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小高小	8名	14名	14名	14名	15名	16名	81名
福浦小	2名	4名	3名	10名	9名	3名	31名
金房小	2名	1名	4名	7名	7名	11名	32名
鳩原小	0名	1名	3名	1名	2名	4名	11名
4校	12名	20名	24名	32名	33名	34名	155名

(平成26年4月末時点)

派遣日数 4校あわせて 週5回

図書担当教員

小高小学校 大和田 ひろみ 教諭

福浦小学校 高橋 美智子 教諭

金房小学校 黒田 祐子 講師

鳩原小学校 伏見 真澄 教諭

学校図書館蔵書数(4月当初。但し、仮設校舎蔵書のみ) 4, 920冊

26年度学校図書館受入冊数

(但し2月末時点までにデータ入力したものとする) 1, 507冊

うち市費購入冊数及び税込金額

小高小	222冊(294, 144円)
福浦小	153冊(223, 245円)
金房小	129冊(223, 163円)
鳩原小	134冊(223, 137円)
寄贈資料冊数	
小高小	265冊(内、杉並文庫160冊)
福浦小	220冊(内、杉並文庫173冊)
金房小	210冊(内、杉並文庫178冊)
鳩原小	177冊(内、杉並文庫160冊)

(2) 学校図書館における教育方針

4校共、読書習慣を身につけることにより、豊かな心情を養い、資料選択・活用ができる力を育て、自ら判断し、主体的な学習態度を育む事を目標とする。

目標達成に向け、朝読書、並行読書、調べ学習の推進をし、学校図書館の有効利用を周知することが図書館教育計画としてあげられている。そのため、この方針を念頭に図書担当教員や児童、教員へのサポートを行う。

2 本年度の課題

(1) 学校図書館利用法の周知

(2) 読書週間等のイベント終了後の貸し出し率低下への対処

(3) 支援員に対する利用促進活動

3 活動の方針

4月当初に4校の先生方と話し合った結果、貸出は入学式翌日から、但し1年生は担任の判断によるものとした。市費購入図書は、学校図書館に蔵書として各校のコードNOでデータ登録し、寄贈図書に関しては、内容、用途によりデータ登録の有無を図書担当教員と相談して判断することとした。

廃棄の基準としては①破損のひどいもの、②寄贈本でいったんは登録したが、前所有者の記名がある等書き込みの著しいもの、③その他教育計画記載廃棄基準に沿うこととした。

学校図書館年間活動計画

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会・活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と打ち合わせ ・貸出用児童データ作成 ・学級文庫配本 ・図書館利用指導、貸出開始（2～6年） ・国語“図書館へ行こう”2・4・6年分類授業 ・ボランティアとの打ち合わせ ・図書館だより作成① 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期図書委員会（組織・分担・活動計画作成）活動オリエンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校図書館支援員会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・“おはなしのへや①” ・図書館利用指導、貸出開始（1年） ・図書館だより作成② 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年へ読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校図書館支援員会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫選定 ・図書館だより作成③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯の本読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校図書館支援員会議
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み推薦図書購入 ・図書館だより作成④ 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫受入 		<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭・学校図書館支援員研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・“おはなしのへや②” ・学級文庫入れ替え ・市費購入図書選定 ・図書館だより作成⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進ポスター作成 ・活動の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回学校図書館支援員会議
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間企画 ・読書イラストコンクール ・市費購入図書受入 ・図書館だより作成⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期委員会（組織・分担・活動計画作成） ・活動オリエンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・南相馬市内学校図書館見学
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書月間企画 ・図書館だより作成⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年へ読み聞かせ 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・“おはなしのへや③” ・図書館だより作成⑧（冬休み推薦図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめ本紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学校図書館支援員会議
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫入れ替え ・図書館だより作成⑨ 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより作成⑩ 		<ul style="list-style-type: none"> ・第6回学校図書館支援員会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・“おはなしのへや④” ・図書館だより作成⑪ 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の反省 	

* “おはなしのへや”はボランティアによる読み聞かせで、国語授業として1時限利用。支援員の参加は読み聞かせ用図書選書等事前サポートのみ。

* 毎週金曜日の昼放送で昔話読み聞かせ（4月第2週～3月最終週）

4 本年度の主な活動内容

(1) 1年間の目標

学校側の方針を受け、今年度の児童一人当たり貸出冊数、月4冊以上をめざし、読書習慣のある児童へは個人年間貸し出し数100冊を目標に図書を紹介する。

(2) 1年間の活動記録

4月

- ・ 新生入、転入児童個人貸出用バーコード作成
- ・ 先生方へ支援員紹介文配布
- ・ 2年生以上の児童への貸出開始
- ・ 国語 分類授業 (各校2年・4年・6年) を担当指導
2・4年には目次・索引の使用法を追加して実施
- ・ 図書館だより発行開始
前年度同様小高小学校版、福浦・金房・鳩原小学校版の2種発行
- ・ 小高小PTA図書委員会(環境整備…季節掲示)への参加
- ・ 学校図書館支援員会議

5月

- ・ 新聞・雑誌購入開始
前年度末に各校の先生方と話し合った結果、全国紙2紙、こども新聞1紙、「ジュニアエラ」「子供の科学」「ディズニーファン」等社会、理科中心に娯楽系も加え15種の購入となった。



雑誌は多人数で読むものですね。



昼休みに全国紙を広げる高学年児童もいます。

- ・ 杉並区視察団来館対応
- ・ 小高小PTA図書委員会への参加
- ・ おはなしのへや(小高小PTA・OGによる読み聞かせ)への支援
- ・ 図書館だより5月号発行
- ・ 寄贈本選書

6月

- ・ 図書館利用指導(各校2年)
- ・ 小高小おすすめ本作成
- ・ 小高小6年国語(単元:イースター島にはなぜ森林がないのか)
ブックトーク 45分 ⇒ 別紙1参照
- ・ 小高小PTA図書委員会への参加
- ・ 学校図書館支援員会議
- ・ 図書館だより6月号発行
- ・ 杉並文庫選書

7月

- ・ 夏休み用特別貸出(各校1人3冊まで)
- ・ 図書館だより7月号(特別付録つき)発行

- ・杉並文庫発注

8月

- ・杉並文庫（小高小・鳩原小・福浦小）入荷・登録・配架
- ・杉並文庫貸し出し開始
- ・小高小PTA図書委員会



今年度小高小杉並文庫



今年度福浦小
杉並文庫



今年度鳩原小
杉並文庫

9月

- ・杉並文庫（金房小）入荷・登録・配架
- ・学級文庫入れ替え
- ・学校図書館支援員会議
- ・おはなしのへやへの支援
- ・小高小PTA図書委員会への参加
- ・南相馬市図書館のTOMO研修参加
- ・図書館だより9月号発行
- ・教職員向け図書館だより発行
- ・市費購入図書選書、発注

今年度金房
小杉並文庫



10月

- ・福浦・金房・鳩原小読書週間
- ・2年国語（単元：ビーバーの大工事）
ブックトーク 15分（小高小、福浦・金房・鳩原小の2回）
- ・南相馬市学校図書館見学会
- ・小高小PTA図書委員会
- ・図書館だより10月号発行
- ・**杉並文庫分散配架&セレクション棚設置** ⇒
- ・図書室イラストコンクール開催
応募総数46点 投票数108票
上位入賞11名
- ・市費購入図書（小高・福浦・金房・鳩原各小）入荷・登録・配架



11月

- ・小高小読書月間（月間多読賞表彰）支援
- ・小高小1・2年 市立図書館にて読み聞かせ&2年バックヤード見学案内



書庫はなんのため？書庫の本を借りたい時はどうするの？等質問の嵐でした。書庫によって収蔵が違うことにも気づいていました。

・福浦・金房・鳩原小2年 市立図書館バックヤード見学案内&読み聞かせ



学校が違くと児童の観点や質問も違います。大人顔負けの意見も。

- ・小高小5年国語（単元：森林のおくりもの）ブックトーク 20分
- ・小高小4年国語（単元：世界一美しいぼくの村）ブックトーク 20分

ブックトーク後は担任の先生が教室に表紙を出して掲示



5年生



4年生は教科書に出てくる本が中心

- ・袖ヶ浦市学校図書館視察研修（11～12日）
- ・小高小PTA図書委員会への参加
- ・図書館だより11月号発行

12月

- ・おはなしのへやへの支援

- ・小高小 PTA 図書委員会への参加
- ・小高小おすすめ本表彰（終業式にて）
- ・学校図書館支援員会議
- ・図書館だより 1 2 月号（おすすめ本紹介特別付録つき）発行

1 月

- ・小高小 PTA 図書委員会への参加
- ・図書館だより 1 月号発行

2 月

- ・小高小 4 年国語（百科事典の使い方）4 5 分
- ・小高小 PTA 図書委員会への参加
- ・図書館だより 2 月号発行
- ・保護者用図書館だより発行

3 月

- ・図書館だより 3 月号発行
- ・小高小おすすめ本表彰
- ・卒業生向けおすすめ本紹介

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・本の分類の確認
- ・杉並文庫及び市図書費の発注処理
- ・袖ヶ浦市学校図書館視察研修引率

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

小高小 81名

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年 1	2年 1	3年 1	4年 1	5年 1	6年 1	月合計	一人あたり冊数
4月	0	28	27	129	21	68	273	3.3
5月	44	44	108	149	50	146	541	6.7
6月	61	28	62	158	34	45	388	4.8
7月	65	61	101	158	72	53	510	6.3
8月	12	6	17	64	28	14	141	1.7
9月	53	16	81	121	38	106	415	5.1
10月	68	35	73	138	48	48	410	5.1
11月	39	34	56	138	47	45	359	4.4
12月	45	64	93	83	51	86	422	5.2
1月	36	58	92	52	31	12	281	3.5
2月	70	24	36	37	35	37	239	3.0
3月	23	21	57	17	12	7	137	1.7
学年合計	516	419	803	1244	467	667	4116	50.8

福浦・金房・鳩原小 74名

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年 1	2年 1	3年 1	4年 1	5年 1	6年 1	月合計	一人あたり冊数
4月	0	0	0	44	49	14	107	1.4
5月	0	0	22	52	49	59	182	2.5
6月	32	26	26	35	47	31	197	2.6
7月	22	23	40	79	66	83	313	4.2
8月	8	8	13	14	15	13	71	1.0
9月	32	53	43	56	64	21	269	3.6

10月	45	60	70	67	100	106	448	6.0
11月	24	6	49	32	36	101	248	3.4
12月	27	29	80	89	125	113	463	6.3
1月	24	34	67	54	107	92	378	5.1
2月	32	16	66	101	102	63	380	5.1
3月	8	13	24	32	61	35	173	2.3
学年合計	254	268	500	655	821	731	3229	43.6

* 4校とも一人2冊まで一週間の貸出、長期休暇の貸出は一人3冊までとなっている

* 福浦・金房・鳩原小の図書コーナーからの貸出データはCASAシステムへの登録をしていないため、上記貸出数に含めない

② 学級文庫貸出冊数

小高小

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年 1	2年 1	3年 1	4年 1	5年 1	6年 1	支援 学級	月合計	一学級 あたり冊数
4月	53	82	80	90	96	83	2	486	81
5月	0	0	0	0	0	7	0	7	1
6月	12	24	0	0	0	0	0	36	6
7月	6	15	0	12	0	0	0	33	6
8月	15	16	23	0	0	0	0	54	9
9月	18	26	15	30	20	31	0	140	23
10月	15	15	0	0	4	11	1	46	8
11月	38	2	4	2	12	4	0	62	10
12月	4	1	0	0	46	0	0	51	8
1月	32	24	10	10	12	5	0	93	15
2月	10	15	0	0	0	12	0	37	6
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	203	220	132	144	190	153	3	1045	87

*一学級あたり数は支援学級を除く

福浦・金房・鳩原小

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年 1	2年 1	3年 1	4年 1	5年 1	6年 1	月合計	一学級 あたり冊数
4月	12	31	13	44	26	20	146	24
5月	0	0	0	0	0	4	4	1
6月	4	9	4	5	4	0	26	4
7月	0	0	8	0	0	0	8	1
8月	1	0	0	16	0	0	17	3
9月	0	0	2	7	2	13	24	4
10月	5	0	0	0	0	8	13	2
11月	0	3	15	0	2	20	40	7
12月	6	0	2	0	0	0	8	1
1月	0	0	0	0	0	5	5	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	4	10	0	0	14	2
学年合計	28	43	48	82	34	70	305	50.8

③ 調べ学習等貸出冊数

小高小

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年 1	2年 1	3年 1	4年 1	5年 1	6年 1	月合計	一学級 あたり冊数
4月	0	5	0	9	0	4	18	3
5月	0	0	0	1	0	9	10	1
6月	12	24	0	0	0	0	36	6
7月	6	0	0	21	0	0	27	4
8月	0	0	0	16	0	0	16	2
9月	4	9	0	15	0	14	42	7
10月	15	15	0	0	0	0	30	5
11月	15	0	0	0	11	0	26	4
12月	0	0	0	0	9	0	9	1
1月	0	22	10	11	0	0	43	7

2月	0	4	0	0	24	5	33	6
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	52	79	10	73	44	32	290	48.0

福浦・金房・鳩原小

平成27年3月13日現在

学年 クラス数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	一学級 あたり冊数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	6	6	1
10月	0	15	5	0	0	8	28	5
11月	0	0	18	0	0	20	38	6
12月	0	0	4	0	0	0	4	1
1月	0	0	0	0	0	4	4	1
2月	0	0	6	10	0	28	44	7
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	0	15	33	10	0	66	124	20.7

④ 学校図書館来館者数

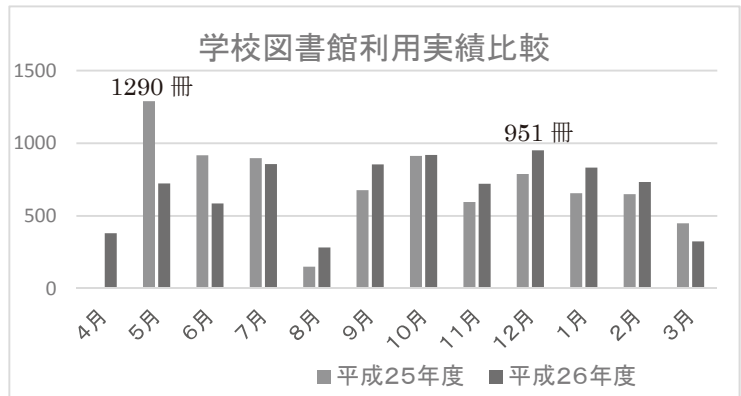
平成27年3月13日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
26年度	576	878	626	624	284	699	826	544	784	695	761	401
開館日数	14	19	20	14	5	19	19	17	16	15	18	10
入館平均	41	46	31	44	56	36	43	32	49	46	42	40

*今年度からカウントを開始したため、比較データ無し

(2) 学校図書館利用実績

- ① 前年度との貸出利用実績比較
(学校図書館からの学級文庫・
調べ学習貸出・児童貸出・職
員貸出の総数)



各校とも昨年度と比べ児童数が16～17%減少しており、単純な利用実績の比較ができないため、一人当たりの貸出数を②として表記する。

② 児童一人あたりの月別学校図書館貸出冊数 (平成27年3月13日現在)

小高小 児童貸出数 (25年度 96名 26年度 81名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	483	624	425	528	91	431	534	383	453	416	372	267
26年度	273	541	388	510	141	415	410	359	422	281	239	137

児童一人当たり貸出数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	4.9	6.4	4.3	6	1	4.9	6	4.4	5.1	4.7	4.2	3
26年度	3.3	6.7	4.8	6.3	1.7	5.1	5.1	4.4	5.2	3.5	3	1.7

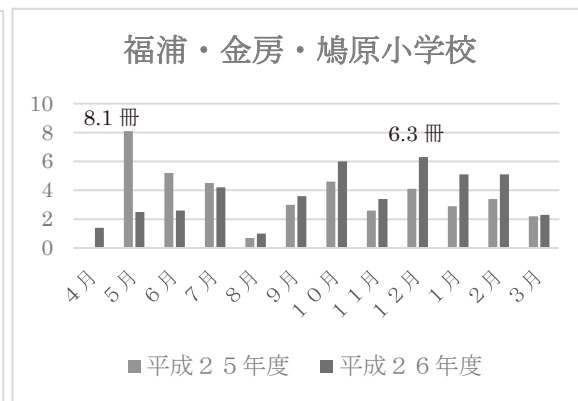
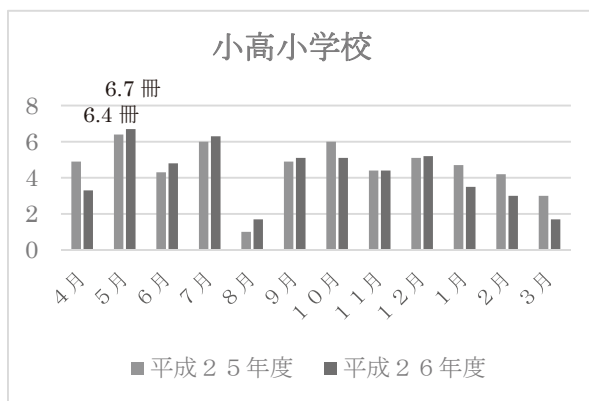
福浦・金房・鳩原小 児童貸出数（25年度 89名 26年度 74名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	1	666	425	369	59	246	379	212	335	240	278	181
26年度	107	182	197	313	71	269	448	248	463	378	380	173

児童一人当たりの貸出数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	*	8.1	5.2	4.5	0.7	3	4.6	2.6	4.1	2.9	3.4	2.2
26年度	1.4	2.5	2.6	4.2	1	3.6	6	3.4	6.3	5.1	5.1	2.3

児童一人当たり月別貸出冊数



今年度は新しい学校図書館が設置されて2年目となる。初年度の5月は目新しさもあり、4校とも貸出冊数が飛び抜けていた。その点を加味すれば、今年度の利用度は微増している。

しかし、小高小の1, 2学期の利用が昨年度を上回るのに比べ、福浦・金房・鳩原小の1学期の利用が少なかった。目新しさがなくなった事と、2階から降りて東校舎までの移動がネックとなり、2階の図書コーナーの利用ですませてしまう事が原因と思われる。ただ、本当に読書の好きな児童は図書コーナーに飽きたらず、本談義を交わそうと学校図書館に来館していた。

また、2学期以降の来館増加には、8月の杉並文庫、10月の市図書費での購入図書の入荷が寄与するところが大きい。図書館だよりでその都度新着図書の紹介はしたが、3学期にはいってのアピール度が足りなかった。来年度は“今月のおすすめ本”といった定期的な広報活動を行うことで図書館の利用を定着していける工夫をしたい。

新しい図書の入荷時の他、両校とも、図書館オリエンテーション、ブックトーク、読書週間、図書館イラストコンクール等の活動後は図書館利用が目立って増えていた。先生方からもブックトーク後は読む本の種類が広範囲に広がったとの声があった。今後とも児童が来館し、利用の促進につながる働きかけを図書担当の先生方と考え、実行していきたい。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

長期休暇を含む月を除くと1か月の児童一人あたりの貸出数は4冊を超え、年間貸出数100冊を超えた児童は2学期末の時点で5人にのぼった。

図書館オリエンテーション、分類授業、図書委員活動でのオリエンテーションの実施で児童の図書分類・ラベルへの興味が増し、返却の際にはまず、背ラベルの分類番号を見て、正しい場所へと返却できる児童が増えた。

ブックトーク、分類授業等授業への参加により、児童との関わりが増し、学校図書館での活動にも生かす事ができた。

(2) 来年度に向けた課題

本年度の課題として挙げた図書館イベント以降の貸出数低下への対処が購入図書の入荷に頼ってしまった事のみとなり、来年度も課題として残る。

また、調べ学習時の学校図書館での児童を観察すると、資料の使い方に戸惑う姿が時折見かけられる。「調べ学習の時、どのように学校図書館を活用すればいいのか？」を図書担当の先生方と協力して児童を支援していきたい。

別紙1 6年ブックトーク実施経緯 (6月実施)

ブックトーク実施

◎ 実施日 2014年6月12日(木) 3校時

ブックトークテーマ 森林と地球環境

6年 国語 単元二 自分の考えを明確にしながらかもう
「イースター島にはなぜ森林がないのか」

授業テーマ

筆者が読み手に伝えたいことをキーワードや接続語、文末表現を手がかりに、正しく読み取ることができる。

ブックトーク実施までの経緯

当初は、6年担当教諭より国語授業単元導入の為、図書を提供を依頼された。教室に図書搬入後、『ガラパゴスがこわれる』または搬入図書の中からの読み聞かせを依頼される。支援員が読み聞かせをすることによって、児童に興味を持たせたいとのことであった。

下読みをしてみたところ、『ガラパゴスがこわれる』で20分弱、『マダガスカル〜』では25分位かかった。読み聞かせをした場合、児童が漫然と聞き流してしまうおそれがある為、その旨を担当に伝え、その時間でのブックトークを提案、快諾された。当初は読み聞かせのみ15分程度の依頼であったが、ブックトークであるならば1時限すべてをあて、児童の環境問題に対する意識を高めるとともに、関心を持って単元に取り組む並行読書につなげたいとブックトーク45分となった。

ブックトークをするにあたり、担任から、“過去から現在に至る地球環境と今後の人類の存続の為には”を絡めて考えさせる方向を示したい。6年下の単元二“「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう”にもつなげたい。そこを強調するようなトークをして欲しい。との依頼があった。

また、単元の導入としてのブックトークのため、児童には教科書を使用せず、白紙の状態で聞いてもらうこととした。

☆ブックトークの実施

ブックトーク当日、担任は教室の机をとりはらい、児童は筆記用具をもたず、いすを半円に並べ、正面には図書を並べるテーブルを用意してくださった。

導入として“ガラパゴス～”
読み聞かせ



ブックトーク進行

1. ガラパゴスがこわれる

- ・ 図書の前半を20ページほど読み聞かせた。

《児童真剣に聞き入る》

2. マダガスカルがこわれる (1と同じ著者と紹介)

飛び飛びに、視覚に訴える場面を見せ、数ページ読み聞かせた。

《美しいと思ったバオブブ並木、かわいいと思ったシファカの現実。》

*参考資料 地図で知る世界の国々

ガラパゴス、マダガスカル、イースター島の場所を見せる

折良くサッカーワールドカップがブラジルで行われていたので、日本とブラジルの位置関係を見せ、ガラパゴス島、マダガスカル島の位置、大きさを比べ、「じゃあ、イースター島って知ってる？モアイ像がある場所。」何人かが聞いた、又はテレビで見たと答える。そこで地図で位置を示すと、「ちいさーい！点にもなってないよ。」「僕たちにも見せて！」(支援員が移動しながら見せる。)「今までの場所、みんな暑い所だ！」等盛り上がる。



紹介した順にテーブルに面出し



3. 森はいきている… 簡単な紹介のみ

「5年生の時読んだ人もいるかもね。日本の森林のはたらきと、人とのかわり、そして自然を守るといふことはどういふことか書いています。」《このクラスは5年“森林のおくりもの”の単元で図書を搬入しており、今回搬入した図書も何冊か含まれていた。》

4. みどりの森はだれのもの … 簡単な紹介のみ

5. 森は地球のたからもの … 簡単な紹介のみ

6. 森へ … 児童が飽きる頃なので、参加させる。

何ページかを見せ、「どこかで見たことないかな？」と問いかけると、「もののけ姫だ！」「こだまがでたとこだ。」「じゃあ、場所はどこでしょう？」

「白神山地！！自然遺産！」「残念。南アラスカからカナダにかけての原生林の写真です。始めは私も白神山地かと思いました。もののけ姫のアニメそっくりですよ。ジブリアニメは好き？ほかにどんなアニメがあった？」トトロ、ラピュタ、ナウシカ、ぼんぼこ…と答える。「ジブリアニメって環境問題を考へてるのが多いよね。そんな事考へないで見るけど。」「あ〜。そういわれればそうか。」児童皆妙に納得していた。

7. プロジェクト X …… 簡単な紹介のみ

8. よみがえれ、えりもの森 … 何行か読み、簡単な紹介

9. ボルネオの熱帯雨林 …… 簡単な紹介のみ

10. 生物の消えた島 …… 簡単な紹介のみ

11. 里山百年図鑑 …… 簡単な紹介のみ

12. プナの森は宝の山 …… 簡単な紹介のみ

13. ガラパゴスがこわれる

まとめとして導入に紹介した本の後半の中から2ページ読み聞かせた。

ブックトーク終了時、担任が児童に興味を持った本、読んでみたい本をたずねたところ “こわれるシリーズが他にもあれば読んでみたい。”との児童の発言があった。後日“南極がこわれる”を提供した。

ブックトーク後

ブックトーク終了後すぐに担任が単元終了まで児童が自由に閲覧できるよう参考図書コーナーを設置。

ブックトーク翌日から本格的に単元に入り、黒板脇という目につく場所のコーナーの為、児童が活用しやすかったようで、誰かが必ず本をひろげていた。



担任が教室前面黒板脇に
特別コーナーを設置



いつも誰かが図書を閲覧
していました！

☆単元後半の意見交流会での児童発言

A 児 「森は地球のたからもの」「マダガスカルがこわれる」を読んで、今ある自然を大切に守り抜きたいと思った。

B 児 「ガラパゴスがこわれる」を読んだ。今の自然を残せば子孫はもっと活用できる。自然を大切に守り、残すことはとても大切。

C 児 自分になにができるかを考えて生活したい。森林は海とつながっている。自然はとても大切だ。

☆担任の感想

トークの内容がわかりやすく、紹介された図書をコーナー設置したところ、児童が興味を持って自発的に図書を手に取り、よく読んでいた。ブックトークをした事によって、児童が単元に興味を持って学習に取り組み、環境問題についても関心を高めることができた。

所感

単元が物語ではなく、説明的文章の読み取りであるため、ノンフィクションに児童が興味を持つ紹介をと努めた。図書数が12冊と多かったことと、自分で読もうとさせるためもあり、“ガラパゴス～”以外は簡単な紹介にとどめた。担任は良い感想をくださったが、図書によっては難しく感じた児童もいたようであった。(アニメにからめた紹介は気に入ったようであるが。)

今回のブックトークは、担任が支援員の為に少しずつ時間をとってくださり、打ち合わせができたため、過去のものより良いトークができたように思う。やはり、テーマのみ提示されるよりも、そのテーマをどう活用するかを聞かせていただくと、児童にわかりやすく、先生方の役に立てるものができる実感した。

ブックリスト

	書名	著者	出版社	発行年
○	よみがえれ、えりもの森	本木 洋子	新日本出版社	2003
○	生物の消えた島	田川 日出夫	福音館書店	1987
○	森へ	星野 道夫	福音館書店	1996
○	ガラパゴスがこわれる	藤原 幸一	ポプラ社	2007
○	NHKプロジェクトX いのち・自然を守れ!	NHK プロジェクトX制作班	汐文社	2003
○	森は生きている	富山 和子	講談社	1994
○	ボルネオの熱帯雨林 生命のふるさと	横塚 真己人	福音館書店	2004
○	里山百年図鑑 野あそびを楽しむ	松岡 達英	小学館	2008
○	森は地球のたからもの 1～3	宮脇 昭	ゆまに書房	2008
○	マダガスカルがこわれる	藤原 幸一	ポプラ社	2010
◎	ブナの森は宝の山	平野 伸明	福音館書店	2006
◎	みどりの森はだれのもの	マリー・マルクス	さえら書房	1986
◎	地図で知る世界の国々	正井 泰夫	平凡社	2006
◎	南極がこわれる	藤原 幸一	ポプラ社	2006

○…市立図書館より借り、提供

◎…学校図書館より提供

*ブックトーク直後に寄贈図書のお話をいただき、先方のご厚意で今回市立図書館から貸借した図書のほとんどを学校図書館に揃えることができた。そのため、児童が利用するのに役立ちありがたかった。